

釧路地域6市町村合併協議会住民説明会 - 質疑要旨

市 町 村 名	日 時		開始時間	終了時間	出席者数	ページ	会 場
音 別 町	3月20日	木	13:00	14:20	77名	1 P	音別町文化会館
			19:00	20:45	79名	2-4 P	
釧 路 町	3月24日	月	19:00	20:33	53名	5-6 P	別保コミュニティセンター
	3月25日	火	19:00	20:50	64名	7-8 P	遠矢コミュニティセンター
	3月26日	水	19:00	20:54	62名	9-11 P	釧路町コミュニティセンター
	3月27日	木	19:00	20:12	38名	12 P	昆布森漁民センター
釧 路 市	3月25日	火	18:30	20:23	38名	13-14 P	コア大空
	3月26日	水	18:30	20:00	41名	15-16 P	コア鳥取
	3月27日	木	18:30	20:30	53名	17-20 P	コアかがやき
	3月28日	金	18:30	20:23	40名	21-22 P	交流プラザさいわい
阿 寒 町	3月29日	土	10:00	13:15	107名	23-26 P	阿寒町公民館
			14:00	15:22	24名	27-28 P	西部消防組合阿寒湖支署
白 糠 町	3月30日	日	10:00	11:41	60名	29-30 P	西庶路コミュニティセンター
			14:00	16:00	70名	31-35 P	白糠町社会福祉センター
鶴 居 村	4月4日	金	10:00	12:12	23名	36-37 P	幌呂農村環境改善センター
			13:30	14:50	50名	38-39 P	鶴居村総合センター

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
音別町 参加者 77 名	1 回	平成 15 年 3 月 20 日 (木) 13:00 ~ 14:20 音別町文化会館	▼質疑等 地方制度調査会の西尾私案が発表されており、1 度目は厳しい内容で、2 度目は幾分緩和されている。これは、先月 25 日に東京での全国町村会や町村議員 6,000 人が集まって決議したことが反映されていると思う。 この西尾私案について、詳しい情報があれば教えてほしい。 ▼質疑等 どうして地制調の会長でもない西尾副会長の発言で大きく影響されてしまうのか。あの内容では小規模自治体は財産管理権や行政執行権がなく、合併しかないと思う。2 度目の内容では自治権だけは守られるようだが、はっきりしないと住民も合併の判断に困るのではないかと感じている。	説明（事務局） 中間報告がこの 3 月から 5 月連休明けに延びた。西尾私案は地方自治制度論議のためのたたき台であり、中間報告では「強制合併」の部分は削除されると聞いている。 説明（事務局） 補足説明となるが、西尾私案については地方制度調査会の専門小委員会の委員長より、メンバーの一人である西尾副会長にたたき台の作成依頼があったものであり、私案自体は個人的なものではないと聞いている。



（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
音別町 参加者 79 名	2 回	平成 15 年 3 月 20 日 (木) 19:00 ~ 20:45 音別町文化会館	▼質疑等 ダイジェスト版の 6 ページに書かれている合併に際しての留意事項が合併問題では一番不安な部分だと思うが、ここに書かれている留意事項が確かにクリアされるのか、見通しについて伺いたい。 合併後の財政の件で、普通交付税は 11 年目から減り始めて 16 年目には激変緩和措置などが無くなるが、16 年目からはどの様になるのか聞きたい。 最後のページに協議会における方向性の確認(9 月下旬頃)とあり、それまでに各市町村で意思決定をしなければならないが、音別町としてはどの様な形で意思決定するのか町理事者に聞きたい。 ▼質疑等 の質問で「心がける」との回答であったが、心がけるでは、我々の不安を取り除くことにはならない。本州の方では、合併前に言われていたことと、合併後では違う(翌年からサービスの低下など)といった例があるので、その点をよく検討していただきたい。住民サービスが現在より下がらないようにいただきたい。 財政問題では、これも本州の例であるが、合併後すぐに財政が逼迫してきているなどということも聞いている。 町長には、是非、今後も情報を随時たくさ	説明(事務局) 現在 6 市町村で、各市町村から同数の委員により協議を行っている。現時点ではまだ具体的なことについて申し上げられないが、これからの協議の中で皆様の意見を反映させながら、これらの留意事項についてクリアできるよう心がけていきたい。 交付税が減った後でも耐えられる自治体として財政改革などを検討していくこととなると思う。また 14 ページの合併の効果等を踏まえ、交付税が減った中でも一定のまちづくりを行っていけるようなシミュレーションを示していきたい。 説明(町長) 町独自のシミュレーションを作成し、音別町として生き残れるのか、あるいは合併が必要なのかについて住民説明会などを開催していきたい。またアンケート調査も行っていかなければならないと、現時点では考えている。 説明(事務局) 大変貴重なご意見として、今後の合併協議に活かしていきたい。



(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			ん提供していただきたい。また、最終的には住民投票などにより住民の意見を聴いていただきたい。 ▼質疑等 8 月に出来上がる概要版は東京の法関係の会社で作ってくると聞いたが、このダイジェスト版は委員が集まって作ったものなのか。また、どこで印刷されたのか。 ▼質疑等 ダイジェスト版を見ると釧路市に吸収合併されるように思われる。また、職員についても釧路市の職員だけが残し、管内 5 町村の職員が減るように思われる。面積が大きくなりすぎて行政サービスは都市部中心で地方は忘れられるといった心配がある。このような基本的なことは役場の担当者が集まって作ったのであれば判るが、何故、東京の業者に任せるのか、これでは地方の意見などが反映されないのではないか。 ▼質疑等 音別町は年々人口が減少しているが、この状況で音別町はこのまま単独でやっていくの	説明（事務局） 新市将来構想などの作成に当たっては、東京の株ぎょうせいという会社の力を借りたが、作成の段階では協議会のメンバーが 8 つの小委員会に別れ、その小委員会の中で検討し、さらに全体の協議会でそれを纏めていくという手順を経て作ったものである。また、ダイジェスト版については原稿から協議会で作成し、6 市町村管内の印刷業者が印刷したものである。 説明（事務局） 大変な誤解をされていると思う。業者にはノウハウの提供をお願いしたが、それは私どもでは出来ない部分についてノウハウをいただくものであり、この計画を作る基本は 6 市町村の考えである。この地域をまったく知らない東京の業者が作った計画というものではない。 職員の問題で釧路市の職員だけ残り管内の職員が減っていくのではないかということであるが、数字だけを見るとそれに近い数字ではあるが、決してそのような事はないと思う。今後協議会で十分協議を行っていきたい。 説明（町長） 人口については少子高齢化などにより全国的に減少傾向にあり、現在策定中の第 3 次総合計画の中でも、人口減をいかに少なくし維持するかなどを検

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。 —3—

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時／場所	主な質問・意見	主な説明内容
			か、あるいは合併しなければやっていけないのか、町長のお考えを伺いたい。 ▼質疑等 議員の方にもお伺いしたいが、4 月に町議会議員選挙もあるので、立候補を予定している方には是非、選挙活動の中でその点についてご意見をお聞かせ願いたいと思っている。 これから具体的な協議を進められることと思うが、要望として委員の皆様には大変ご苦勞をお掛けするが、この音別の未来のため、町の代表として今後の協議において努力していただきたいと思う。	討している。 合併するのか、しないのかの質問については、最終的には町長が判断することとなるが、それを決めるのは町民であり議会であるので、今後も町民の皆様へ情報を提供し、議会と十分協議を行いながら進めていかなければならないと考えているので、今ここで、合併する、しないの答えについては差し控えさせていただきたい。 説明（委員） 今後本格的に内容を詰めていく段階になるが、今いただいたご意見などを含めて皆様に報告しながら、合併した方がいいのか、あるいはしない方がいいのか。また、町としても自立した場合のまちづくりについての案を示していきながら、住民の皆様に判断していただきたいと思っている。今、お聞かせいただきましたご意見については、私達委員も十分に刻みながら、これからの委員会等の中で協議を行っていきたいと思っている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路町 参加者 53 名	1 回	平成 15 年 3 月 24 日 (月) 19:00 ~ 20:33 釧路町別保コミュニティセンター 2 階大会議室	▼質疑等 人口 20 万人から 2 ~ 3,000 人規模の市町村があり、合併議論をする期間が 2 年間しかない。国は合併を早くやってほしいようだが、2 年ではあまりに期間が短く合併議論が十分に出来ないのではないか。国に働きかけて 3 年、4 年と期間延長の話は出来ないものか。 ▼質疑等 合併の結論を 9 月までに出不さなければならぬいとする、住民アンケートをした後で住民説明会はあるのか。 ▼質疑等 アンケートの後に合併したらこうなるという説明があるのか。 ▼質疑等 4 月のアンケートは合併するのかどうかのアンケートと受け取っていた。ダイジェスト版だけでは合併の可否を判断できるものではない。この場で、合併したらこうなる、しなかったらこうなるという具体的な説明が聞けると思っていた。確認するが、アンケートは賛成、反対を問うものではない。	説明(事務局) 国の財政事情を考えると国は期限を延長する考えはないという説明を聞いている。期限を延長するのは難しいと判断している。 説明(事務局) 協議会としては 9 月に住民説明会の開催を予定している。 説明(事務局) 4 月に行うアンケートは、合併に対して賛成・反対を問うアンケートではなく、新しい町になった場合の将来の夢をお聞きするためのものである。 説明(事務局) その通りである。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 郡単位で合併した場合、P15 にあるような合併支援策を具体的に示してもらえるのか。 ▼質疑等 合併する、しないを判断する時期はいつ頃か。どのような過程を経て決めるのか。 ▼質疑等 合併するしないを決めるのが説明会を終えてからになるとすればかなり早い時期に決めなければいけないと思うが、「いつ」「どこで」決めるのか。 ▼質疑等 議会議員選挙が秋に行われる。住民の意見を議会でどのように反映させるのが気になる。当面は、現在の議員で協議することになるが、十分に町民の意見を反映した議会議決になるのかどうか、町民としては不満が残る。具体的な町民の声が届くような議決であって欲しいと思う。	説明（事務局） 具体的資料は手元にないが、合併前後の人口比率により計算できるので、時間をいただければ同様の資料を示すことは可能である。 説明（事務局） 合併に至る手順は道などと協議する時間が必要になる。住民の皆さんに説明し、理解してもらう時間も必要となるので、仮に 17 年 3 月を前提とするなら、15 年秋までにどこどこが合併するかの枠組みが決まらないと間に合わなくなるのではないかと思う。最終的には議会の判断も求められるので、ダイジェスト版の最終ページにあるようなスケジュールを考えている。 説明（事務局） 仮に 17 年 3 月を期限とすれば、半年前までに協定書や議会での判断がなければ間に合わなくなる。逆算していくと 16 年の「合併是非の確認」はこの時期には欲しい。今は枠組みを決めるための説明会を行っているが、今年の秋には枠組みを決めたい。 説明（委員） 10 月に町議会選挙があるということで心配されるところもあると思うが、議会では議長を除く全議員で特別委員会を作っている。協議会で決まった事柄の説明を受けたり、これから出てくる意見などを踏まえて随時、協議をしていき、議会としても間違えない判断をするべく取り組む予定となっている。心配をかけないように改めて意を決しているのでご安心願いたい。大事な問題であるので、意見を十分に汲み取って行きたいと思っている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路町 参加者 64 名	2 回	平成 15 年 3 月 25 日 (火) 19:00 ~ 20:50 遠矢コミュニティセン ター	▼質疑等 ・一昨年釧路市から釧路町へ転居してきたが、釧路市に比べ釧路町職員の対応が非常に親切であった。 ・国は合併した市町村を優遇するといっているが、それはおかしいと思う。合併しなくても同じ国民ではないか。 ▼質疑等 ・3 月 9 日の新聞記事に「新市 283 億円の黒字に」という見出しで、2024 年には合併した場合 283 億円の黒字、合併しない場合 1 億 ~ 230 億円の赤字と書かれていた。報道機関の関係であるが、これを見ると庶民は単純に合併しなければならないと思い違いをしてしまう。今後協議会で資料等を公表する時は、住民の受け取り方を考えて公表していただきたい。 ・心のかよった行政が一番大事なことでと考えている。議員定数の削減等により住民の声が行政に届きにくくならないよう、十分考えて今後の協議を進めてほしい。 ・釧路町として合併の判断をする場合、どのように町民の考えを集約しようと考えているのか伺いたい。 ▼質疑等 ・今回のシミュレーションは一つの方法を用いた推計であると説明を受けたが、この後の「概要版」では、今後の協議により調整されたもの	説明（町長） 合併の議論を活発にしていきたいとの思いから、以前より合併の判断は住民皆様の意見を充分聴いて判断すると申し上げて来た。合併可否を最終的に決定するのは議会であるが、それを提案するのは町長である。アンケート調査をする場合、住民全戸に近いアンケートが望ましいと思うが、他地域で実施している住民投票という方法も頭に入れて、住民意見の集約の方法について充分考えて取り組んでいきたい。 説明（事務局） 今後、資料を作成していく上で留意したい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。 —7—

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			に修正となるのか。 ・「ダイジェスト版」や「行財政シミュレーション」などカタカナを多く使っているが、今後は住民にわかりやすいよう日本語の表現としてほしい。 ▼質疑等 ・町長は、選挙の時、合併問題は「町民の意見をよく聴いて決める」と公約されていたが、町民の意見をどのように集約していくのか、その方法やスケジュールを示してほしい。 ・現在 6 市町村で 3,400 人程度の職員がいるが、シミュレーションでは平成 36 年に一般職員が約半数になるとある。釧路町が合併しなかった場合のシミュレーションでは、職員を半数としたのかなど、細かい疑問を多くの方が持っていると思う。 ▼質疑等 本州で既に合併した市町村を見ると、そこには合併する目的やメリットがあったと思うが、釧路地域の合併協議は合併特例債等を使っての事業実施が目的のように思う。そうすると都市部中心の事業実施になってしまい、地方が取り残されることなどが懸念されるので、委員には各地域の均衡ある発展に配慮し、協議を進めていただきたい。	説明（町長） 今回のダイジェスト版だけでは判断できないと思うが、今後 8 月下旬に「概要版」が出される予定である。合併の判断材料を提供し、住民説明などを行い、その後皆様の意見を聴くこととなるが、その方法については状況を見ながら検討していきたい。 説明（町） 釧路町における住民説明等の予定は次のとおり。 ・ 4 月から広報誌により情報を提供 ・ 住民説明会（町民会議）を毎月開催。また、要望に応じ、説明会を開催 ・ 町民集会（時期未定）を開催 ・ 他の 5 市町村をバスで見て回る「タウンウォッチング」を実施 ・ 町民意見箱を活用 説明（事務局） シミュレーションについては、長期間の推計ということから難しい面がある。今後協議会等で充分協議してお示しして行きたい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時／場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路町 参加者 62 名	3 回	平成 15 年 3 月 26 日 (水) 19:00 ~ 20:54 釧路町コミュニティセ ンター (セチリ太)	▼質疑等 合併特例債の考え方を聞きたい。合併特例債は借金になるのか。 ▼質疑等 職員、議員を減らして行政運営に支障はないのか。その検討はしているのか。 ▼質疑等 合併をすると効果が上がり、あまり借金もせずにまちづくりが出来るというシミュレーションに見える。弊害やデメリットの対策を検討しているのか。	説明 (委員) 行財政シミュレーションといいながら、正確な数字とは言えず粗い数字。例えば合併した場合としない場合で金額が出ているか誤解を与えかねない。そもそも自治体で累積収支はありえない。本来自治体会計は 1 年 1 年決算なので不足すれば必ず対応していく。例えば阿寒町の給与削減などの努力が反映されていない。釧路町の場合も 16 年度の赤字が多くなっているが、これは借金のピークを迎えているためで、19 年度になると借金が減っていく。単純に 13 年度の決算に基づいているために非常に分かりにくいものになっていることを強調しておきたい。 合併した場合でも、類似団体との比較であり、面積を考慮して職員の減員を推計している訳ではない。そのような実態があることを報告しておきたい。 説明 (事務局) 合併に必要な事業をした場合に利用できる、有利な借金である。 説明 (事務局) 具体的なまちづくりについての相談は行っていない。広大な行政面積の中で行政運営をどうするのか、施設や人員の配置についてはまだ詰めていない。類似団体ではどの程度削減されるかということで推計している。 説明 (事務局) 財政的にも厳しくなり、人口も減っていくという中でのシミュレーションを作ったものである。具体的な弊害やデメリットについては、まだ協議を行っていない。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 合併をするとどのような方向で生きていけるのか、途中で国の政策（補助金、交付税など）が変わった場合にはどうなるのかなど、深く協議をしてより分かりやすく情報提供してほしい。 ▼質疑等 町長は9月には釧路町としての合併の結論を出したいとのことだが、残り半年の間で町としての方向性が示されないと町民としても判断ができない。もっと深く、情報提供をお願いしたい。 ▼質疑等 住民サービスの低下が懸念されるが、弾力的に考えてもらえるのか。特別自治組織や財政的	説明（事務局） 説明不足の面も多々あると思うが、今回は協議会における半年間の成果を説明させていただいている。 説明（町長） 合併問題は住民の皆さんの意向を踏まえた上で決定することが大事。これまで何回か町独自の説明会を行ってきたが、国の方針などを説明することに留まっている。合併協議会が出来て具体的な協議が進められていった段階で情報をお伝えすると約束しており、今日の説明会も情報提供の一つである。よく分からないとか十分でないという意見をいただいているが、この後も協議が進んでいった段階で説明会を開催する予定。町として約束していることでもあり、町独自の計画も考えている。 説明（町） 今回の説明会と9月に予定されている説明会は協議会主催で行うもの。町独自では大きく分けて次の3つの事業を計画している。 町民への情報提供～町報、独自の説明会、ホームページ、タウンウォッチング 意見聴取と意見交換～アンケート、ひとことポスト、シンポジウム委員との勉強会 説明（事務局） 民意の反映は大きい課題。地方制度調査会で新たな制度が検討されているので、その方向性を注意深く見守って行きたい。今後協議会の中で協議して

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			に権限を持たせる等の手法が考えられないのか。 ▼質疑等 アンケートの方法について、「合併する」「しない」という聞き方をしないのなら、どのようなアンケートになるのか具体的に教えてほしい。 ▼質疑等 ダイジェスト版 6 P の「留意事項」の説明はあったが、右側の二重枠で囲んだものの説明がされておらず、心配ばかりが強調されてしまい片手落ちではないかと思う。 ▼質疑等 最終ページのスケジュールで 16 年 6 月に協議会を抜けた場合どうなるのか。残った自治体で合併を行うのか。	行きたい。 説明（町長） 全国町村会でも色々な意見がある。1 つには地方自治法の中に規定されている「連合」という制度があるが、民意を尊重するために旧来の自治体に責任者を置くとかという連合であれば法改正が必要になり、現状では出来ないということになる。全国町村会として、いくつかの方法を国に要請中であるが、要望を受けて法改正に取り組むかどうかは不明である。 説明（事務局） 新しいまちづくりを検討するためのアンケートで、各分野の中でどのような事業を行ってほしいのかを記入してもらったり、合併に対してどのような情報がほしいのか、どのような手段で情報を得ているか等、全体で 10 項目程を考えている。 説明（事務局） （各項目について説明） 説明（事務局） 判断のタイミングは 2 回ある。1 つ目は、15 年秋。ここをクリアすれば足並みをそろえて積極的に合併を目指すことになる。その後 16 年 6 月に抜けると作業は続かなくなり、実質的には合併協議が整わなかった、不調に終わったという結論になるものと思う。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路町 参加者 38 名	4 回	平成 15 年 3 月 27 日 (水) 19:00 ~ 20:12 昆布森漁民センター	 ▼質疑等 町内の説明会が 4 会場で行われ、全て 19 時からの開催となっている。9 月に説明会を行うなら日中 16 時半ころから設定してもらえればもっと多くの方が参加できるので、浜の地域性を考慮して時間設定をしてもらいたい。	説明（委員） 冒頭あいさつにもあったように、本日の説明会は途中経過の説明に留まっている。個々の問題や課題が示されているが、4 月以降精力的に協議が進んでいくものと考えている。昆布森地区の皆さんが心配している課題については承知しているので、これからの協議の中で更に詳しく協議をし、8 月の概要版を出すまでには、特に行財政の部分についてはしっかりと不安を解消できるよう、また合併の判断材料になるよう、しっかり進めていきたいと考えている。 今日のダイジェスト版だけではなかなか皆さんに理解していただけない面も多いと思うが、これで終わるのではなく、これからが始まりである。 8 月までは期間も余りないが、しっかりと任務をそれぞれ果たしていきたい。19 名の委員が選出されているので、十分に協議をして将来に過ちのない判断が出来る資料を作成していきたいと考えているのでよろしくご理解をいただきたい。 説明（事務局） 地域性を考慮して調整したい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路市 参加者 38 名	1 回	平成 15 年 3 月 25 日 (火) 18:30 ~ 20:23 コア大空 (興津)	▼質疑等 ・ 釧・釧合併から広域合併に移行していったことに対する市議会の関わり方はどのようなものだったのか。 ・ 地域の問題が解決されるかどうか懸念がある中で、合併問題についてはそれ程急ぐ必要もないのではないか。 ▼質疑等 ・ 合併の是非を問う段階において、最後に退会する市町村があった場合は、それまでの論議はどうなるのか。 ・ 基本目標が抽象的、理想的すぎるような気もする。この次の住民説明会では具体的に示していただきたい。 ▼質疑等 ・ 少子高齢社会を迎えるにあたり、国の対応が手ぬるかったのではないかと考えている。今後は積極的な施策の展開が必要であると思う。	説明 (委員) ・ 釧・釧合併については住民発議からスタートしたこともあり、住民にとって釧路市と釧路町の合併が一番わかりやすい形であったと思う。また、釧路市も釧路町も合併の必要性を感じていたと思うが、釧路町としては釧・釧合併だけではなく広域合併についても考えていたところであり、町議会でも広域合併についての付帯決議がされたところである。 ・ 市議会としては、広域合併で合併本来の目的が達成されるのなら、釧・釧合併にこだわらなくてもよいと考えるに至ったところである。 説明 (市長) ・ 国からの補助金等が削減されていくことが予想される中で、今までどおりの住民サービスを提供し続けることが出来るかどうかといった懸念がある。ごみ、医療などの行政運営は広域で取り組まなければ成り立たない時代に入ったと思っている。 説明 (事務局) ・ 1 点目については、全てご破算となる。 ・ 2 点目については、新年度から作業を行う「新市建設計画」の検討の中で具体的に詰めて行き、分かりやすい形で住民の皆さんにお示ししたい。 説明 (市長) ・ 西尾私案にもあるように、国は市町村合併についてはアメとムチを使い分けている状況である。住民サービスと税負担のバランスを考慮し、負担が大きくなるという覚悟を決めた上で、市町村が合併しないと判断すること、そ

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			・ 6 市町村が合併をしなかった場合はどうかといったことについては、それぞれの市町村が明解なものを示していくべきである。 ▼質疑等 ・ 合併により、今でも除雪対応が悪いのに更に悪くなるといった心配や、病院の混雑に拍車がかかるといった心配などがある。 ・ 合併支援策を活用するにしても、市町村が新たに借金をすることとなる。今ある借金をどうやって返していくかといったことが重要である。 ・ MOO などの観光施設も赤字続きであり、箱物建設を今は考えなければならない時期である。	れはそれで良いと思うが、厳しい時代であるからこそ、国の支援も視野に入れて長期的なまちづくりを検討していかなければならないと考えている。 ・ 合併すると、新市においては農業、林業など、今までにない厚みのあるまちを形成する要素が加わり、まちづくりの幅が広がるものと考えている。 説明（市長） ・ 除雪は今のレベルを落とす訳にはいかないと考えている。また、現在も釧路市は道東の医療拠点としての機能を果たしており、合併によってもそれほど病院の混雑に拍車がかかることはないのではないかと考えている。 ・ 今後、必要のない無駄な施設は作ることとは考えていない。また、今まで建設してきた施設の経営問題は確かにあるが、まちづくりや住民サービス充実の必要性から運営してきた経緯もあり、今まで果たしてきた役割も考慮すべきと考えている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路市 参加者 41 名	2 回	平成 15 年 3 月 25 日 (火) 18:30 ~ 20:00 コア鳥取	▼質疑等 合併して面積が広がった場合、隅々まで行政サービスは行き渡るのか、またそのための方策を伺いたい。 ▼質疑等 市町村合併は感情的にこじれて駄目になるケースがあると聞くと、6 市町村の仲が良くなるような事業を手厚くして欲しい。そういった事業が実現できるのであれば、合併は賛成である。 ▼質疑等 地域として新しい発想で考えると良い地域になるのではないかと。 ▼質疑等 ・釧路市が合併に加わらなかった場合はどうなるのか。 ・合併をしないで、釧路市単独でやっていくとどうなるのか。 ▼質疑等 消防職員数についての取り扱いはどうなっているのか。	説明（市長） 情報基盤の整備などによって、解決できる面もある。特に産業や福祉の分野についてはきめ細かな対応を要する分野であると考えている。また、例えば郵便局の活用などにより、住民サービスを充実させる方策もあると考えている。 説明（市長） ・合併はそれぞれの市町村が判断する問題だと考えている。 ・合併問題とは別に財政健全化の取組みは必要であり、今後の厳しい財政状況を考慮すると、住民サービスの低下ということも考えていけないといけないのではないかと考えている。 説明（事務局） 釧路市の消防は単独組織であるが、町村では一部事務組合方式となっているため、ダイジェスト版記載のような職員数になっている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 湿原展望台の場所は、今の場所より釧路町の細岡に作った方が良かったのではないかと考えている。今後、広域合併した場合には、エリア内の良い場所を選んで欲しい。 ▼質疑等 ・釧路市にとって合併のデメリットはないような気がするため、自信を持ってやって欲しい。 ・仮に釧路市にとってのデメリットが考えられるならば、教えて欲しい。 ▼質疑等 ・数値の見込み違いで、後でシミュレーションを修正するケースが見られたが、良いところばかりを強調して住民の誤解を招くような事がないようにお願いしたい。 ・地域で働く人の心のコミュニケーションを大切にしたい。 ・合併する市町村の痛みにも意識した協議を進めて欲しい。	説明（市長） 釧路市としてはそれ程デメリットがないのではないかと考えているが、町村では、合併によって、今までの伝統や文化が失われるのではないかとといった心配がある。釧路市が合併をすると、「農業」「林業」「観光」などの分野において、まちづくりの幅が広がっていくのではないかと考えている。 説明（委員） ・住民判断と言われながら、今まで判断する材料が全くなかった。 ・今回このようなダイジェスト版が出たが、これからも住民との話し合いの場を設けながら、より良い方向に向けて協議を進めていきたいのでご協力をお願いします。 説明（市長） ・合併によって今までの住民自治がなくなってしまうのではないかとといった心配がある。こうした心配に対して、総務省では、新市の中に地域自治組織を設けて地域住民の意見を反映するシステムなどを検討している。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路市 参加者 53 名	3 回	平成 15 年 3 月 25 日 (火) 18:30 ~ 20:30 コアかがやき(愛国)	▼質疑等 「シミュレーション」の語源を教えて欲しい。 ▼質疑等 2 月に東京で開催された全国町村会、町村議会議長会での市町村合併問題への抗議決議について、市長の見解を聞きたい。 ▼質疑等 「行財政シミュレーション」の作成に当たっては、コンサルタント会社に委託したと聞いているが、自前で作成できなかったのか。 ▼質疑等 ダイジェスト版 10 ページの「合併しなかった場合のシミュレーション」と 12・13 ページの各市町村のシミュレーションの合計では平成 36 年度の累積収支額が合わないのではないか。 ▼質疑等 シミュレーションの中で記載されている「普通会計」とはどういうものか。	説明(事務局) ここでは「推計」という意味で使用している。 説明(市長) 国の強制的な合併推進に対して抗議したもので、この抗議を受け、国でも強制的な合併については考えを改めようとしていると聞いている。 説明(事務局) 短期間で作業をしなくてはならなかったことから、行財政シミュレーションを検討するに当たっての基礎的資料作りを、豊富なノウハウと技術を有するコンサルタント会社に依頼したものである。 説明(事務局) 10 ページは平成 17 年度からの累積収支を計算し、12・13 ページでは平成 14 年度以降の累積収支を計算していることから両方の累積収支が異なっている。 説明(事務局) 「一般会計」と「公営事業会計(公営企業会計、収益事業会計等)以外の特別会計」を総合しひとつの会計としてまとめたものである。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 ダイジェスト版記載のシミュレーションだけでは判断し難い。もっと詳しい財政推計に関する資料を提供して欲しい。 ▼質疑等 合併特例法には、住民投票などの住民の合併に関する意思決定方法が明記されていないが、事務局としては、住民投票など行う考えはあるのか。 ▼質疑等 ・協議会の「基本的な考え方」やダイジェスト版の随所に、「住民の意見を反映して・・・」等と書かれているが、住民の意見を聞く度合いとして、この程度の説明会で十分なのか。 ・「新市将来構想」の「新市の将来像」は、実質を伴ったプラスイメージの魅力的なものにしていきたい。 ・住民が主体的に協議に参加するというのなら、住民同士が意見交換出来る「住民懇談会」等のようなものにしてはどうか。 ・「基本的な考え方」にある「合併はまちづくりのひとつの手段」と考え、合併ありきの議	説明（事務局） 行財政シミュレーション作成に至る協議の過程で提示してきた詳しい資料については、各市町村の所定の場所や協議会のホームページでも閲覧できるようにしているのでご覧いただきたい。 説明（事務局） 合併の判断は各市町村においてそれぞれ行うことになる。事務局としては住民投票については考えていない。 説明者（市長） 釧路市では、合併意思の確認のひとつの方法として、市民 1 万人を対象としたアンケートを実施する予定である。このアンケート結果で賛否が拮抗した場合には、住民投票というものも検討していく可能性はある。 説明（市長） 説明会の開催に当たっては、あらゆる方法で住民の皆さんに周知したが、結果として全住民の約 0.1% 程度しか出席していただけない。何百回も開催できればよいが時間的な制約等もある。 ・「新市の将来像」では、6 市町村が合併することにより、1 次から 3 次まで全ての産業が揃い、また、様々な自然資源、観光資源が新市に加わることで、新たな産業、地域振興の発展に繋がる可能性があるということを表現していると考えている。 説明（事務局） 基本的な考え方にある「合併はまちづくりの・・・」については、まちづくりの手段としては、「合併」ということばかりではなく、このまま一つのまちとして残るということもまちづくりの一つの考え方であるし、あるいは

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			論とはしません。」の意味がわからない ▼質疑等 「行政現況基礎調査」について、「保健医療」では各市町村の医療施設の状況、「ごみ収集」では最終処分の状況、「水道・下水道」では浄水場の現況について教えて欲しい。 ▼質疑等 去年の釧路町長選挙をめぐる事件については大変残念なことだと思っている。釧路市はこの事件の総括や住民に対する説明をきちんとするべきではないか。 ▼質疑等 本当に合併は住民の意思で決めるのか。首長や議会の一存で決まるのではないか。 ▼質疑等 合併に積極的でない首長に対し、合併推進に向け、釧路市長がもっと働きかけるべきではないか。	広域連合等を組織し広域的に行政を運営していくことも一つのまちづくりの考え方ではないかということであると考えている。 説明（市長） ごみの最終処分場については、6市町村で広域連合を組織し焼却場を建設し、平成18年4月から稼動する予定である。 説明（事務局） ご質問の件については、新市将来構想の中の「地域の現状」という項目の中に記載させていただいている。 説明（市長） — 釧・釧合併協議会設立から釧路地域6市町村合併協議会設立までの経緯を説明 — ・大変残念な事件であったが、周辺5町村にご理解をいただき、釧路市として信頼回復に努め、今後も積極的に協議を進めていきたいと思っている。 説明（市長） 住民の意思は尊重しなければならないと思っている。そのためにも、住民アンケート等を考えている。 説明（市長） 合併協議の推進に向け、各首長とも協調して話し合っていきたい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時／場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 ・「行財政シミュレーション」の信憑性はどの程度あるのか。 ・先進事例では、合併後住民サービスの低下を招いた所もあると聞いている。この地域でも、合併したら良くなる住民サービスと悪くなるサービスについて、早く情報提供をしていただきたい。	説明（事務局） ・20年先の将来まで推計することは大変難しいことから、ある一定の条件の下での推計となっているものであることをご理解いただきたい。 ・具体的な住民サービスの調整等の作業は、15年度に入ってから行っていく予定である。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
釧路市 参加者 40 名	4 回	平成 15 年 3 月 25 日 (火) 18:30 ~ 20:23 交流プラザさいわい	▼質疑等 今まで市町村合併について、よく分からなかった。合併すると、国保料、住民税はいくらになるのか教えて欲しい。 ▼質疑等 ・人口推計や就業構造のシミュレーションは行っているのか。 ・概要版の具体的な内容や、合併後の私達の生活がどうなるのか教えてほしい。 ▼質疑等 住民説明会は横断的な開催より、例えば、農業、子育て中の女性、教師、医師、漁業者などといったように縦割的な開催の方が良いのではないか。 ▼質疑等 「シミュレーション」のような横文字を使うのではなく、分かりやすい日本語で表現すべき。 ▼質疑等 ・釧路市の第 1 次産業に対する就業人口は大変	説明(市長) 税金については、今以上高くなることはないだろうと予想しているが、個々の負担については、これからの話し合いの中で詰めていく予定である。 説明(事務局) ・人口推計については 16 ページのとおりとなっている。就業構造別のシミュレーションは行っていない。 ・概要版については、6 市町村の事務事業の調整方針などを詳しく載せる予定である。 説明(事務局) これからの議論や計画を立てる上での参考とさせていただきたい。 説明(市長) 例えば農協の合併については、市町村合併に先行して議論されている。また、森林組合や漁業組合についても合併議論が行われている。 説明(事務局) 今後、資料を作成していく上で留意したい。 説明(市長) ・釧路市の農業は 100 戸足らずであるが、合併すると第 1 次産業の占める割

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			少ないが、自治体の基礎体力の向上には、第 1 次産業の振興が不可欠である。 ・広域で 6 市町村が合併すると、第 1 次産業や観光における「まちの力」に幅が広がり、潜在能力も向上するものと考えている。 ▼質疑等 ・物には適正規模があり、市町村についても同じである。合併後の約 3,000 平方キロメートルの面積には大変疑問を感じる。 ・この地域は地震が多いため、面積が大きくなると、それ相応の防災上の対応が求められる。 ・生活保護費の級地変更は、シミュレーションの中で考慮されているのか。 ▼質疑等 いわき市の合併のように、面積の広い自治体には広いが故の問題も多いと聞いている。 ▼質疑等 ・支え合いの精神が、まちの生活を成り立たせる重要なキーワードになると考えている。 ・6 市町村の社会経済の発展が、市民生活の安定に結びつくものと考えている。	合は飛躍的に伸びる。また、地域における観光イメージが今以上に向上するものと考えている。 説明（事務局） ・それぞれ既存のコミュニティを大切にしながら、自治体運営を行っていくことが大切であると思っている。 ・昭和 24 年当時の釧・鳥合併の状況と違って、今は、車の普及や情報基盤も格段に進歩しており、それらを活用してデメリットを克服していくこともあると考えている。 ・生活保護費の取扱い等については、これから議論を詰めていく予定である。 説明（事務局） ご指摘の点は、これからの協議の中で参考にさせていただきたい。 

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
阿寒町 参加者 107 名	1 回	平成 15 年 3 月 29 日 (土) 10:00 ~ 13:15 阿寒町公民館	▼質疑等 ・行政組織を強化し、豊かで夢のある新市のまちづくりをすると示しているのに、その一方で職員を削減することも提示している。広域行政を行う上で、職員を減らして、本当に豊かで夢のあるまちづくりができるのか。 ・行財政シミュレーションには各市町村で取り組んでいる行政運営の努力が盛り込まれていないのではないか。 ▼質疑等 行財政シミュレーションや合併をめぐる諸情勢を見ても、この合併は釧路市に有利な合併ではないか。 ▼質疑等 ・合併後の特別職の数など、どのような考えで想定したのか。 ・「基本的な考え方」は、町の説明では「基本的な考え方に立った共通認識」と解釈していたが、いつから「基本的な考え方」になったのか。 ▼質疑等 合併に関する国の政策を住民に情報提供し、その上で住民の意見を聞いてからこのような資料を作るべきでないか。ある程度資料が出来てしまってから住民の意見を聞くのは順序が逆だ。	 説明（事務局） ・行財政シミュレーションは個々の事項の積み重ねではなく、類似団体との比較で行なっている。 ・具体的な地域の振興策、行政組織のあり方についてはこれから協議されるところである。 説明（町長） これから合併について色々な協議をしていく段階であり、今は合併の是非について意思表示する時期ではないと思っている。 説明（事務局） 合併に関する議論をしたり、意見をいただくためには、ある程度の資料は必要だと思う。今後も議論を深めていただくために積極的に情報提供していきたい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 合併に関する国の考え方は、財政状況が危ういから合併させようという認識か。 ▼質疑等 ・市町村合併は国が抱えている問題のツケを、地方に転化させるものだ。国に対する責任を追及せずに合併を論議するのは納得できない。 ・委員には、この合併問題に対しどんな信念があって引き受けられたが聞きたい。 ▼質疑等 協議には十分な時間をかけて、慎重に進めて欲しい。 ▼質疑等 「合併に際しての留意事項」は協議会委員の合意を得て出された資料なのか。 ▼質疑等 行財政シミュレーションは極めて根拠の無い曖昧な資料だと思う。このような資料説明をすることを阿寒町として了承したのか。	説明（事務局） そのようなことも背景のひとつにあると思いますが、社会情勢の変化に対応できる行政基盤の強化も重要なことだと思う。 説明（町長） ここまで財政状況が悪くなるとは予想していなかった。憤りは感じるが、不満ばかりをぶつけても問題の解決はできないので、地方で出来る限りの策は講じなければならないと思う。 説明（事務局） ・合併による組織の充実とは、新市となって今まで小規模町村では出来なかった行政サービスが提供できるようになることを意味していると思っている。 ・事務局から原案として提案したものを協議会で審議し、了承していただいている。 説明（町長） 不備な点があれば、ご意見をいただき、今後の協議に活かして行きたい。 説明（事務局） 行財政シミュレーションは、6市町村が同じスタンスに立って推計したも

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 各市町村の行政運営の努力を考慮していないこのシミュレーションは、不誠実であり、不正確な資料。合併を判断する資料としては問題があると思う。 ▼質疑等 合併協議会には、阿寒町としてどのような基本理念を持って参加したのか。 ▼質疑等 議会は行政と住民の間に立って、十分な情報提供を行うとともに合併問題に対する基本姿勢を明確にして、この合併協議会に臨むべきではないか。 ▼質疑等 小委員会毎にこれまでの委員会での協議の経過、ダイジェスト版を作成するに当たっての役割・考え方をお聞かせ願いたい。	ので、個々の政策等は加味しないなど一定の条件を付して行なっている。ただ、このままの何もせず手をこまねいていると、将来、財政が立ち行かなくなるとことは読み取っていただきたいと思う。 説明（事務局） 各市町村がこれまで取り組まれてきた行財政運営の結果を基礎にしているが、20 年もの先の将来を予測することは大変難しいことから、与えられた条件を基に、出来る範囲での将来推計の資料を作成した。 説明（委員） 合併問題を研究・論議することで将来のまちづくりについて、住民と情報や意識を共有したいと考えている。 説明（委員） おっしゃるとおりである。今後も行政に対し十分な情報の提供を要請していく。 説明（各小委員会所属委員） （所属する小委員会毎に代表者が説明）

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 地方制度調査会から出された西尾私案は、住民自治を保障する憲法に反するのではないか。地方自治を担う町長からこのことについて見解を聞きたい。 ▼質疑等 協議会ホームページを見ているが、大事なところが見る事が出来ない。また、会議録を読んでいると、質問も少ないようだが、こうして議事録を真剣に読んでいる者がいることを自覚し、委員には活発な論議をお願いしたい。 ▼質疑等 次回からこのような説明会をするのであれば、例えば交付税の将来推計については、合併した場合、しなかった場合の両方を示すなど公平・公正に提示してもらいたい。 ▼質疑等 今日出席の協議会委員には日当が出ているのか。また、その日当は、協議会と阿寒町のどちらから出ているのか。	説明（町長） ・「西尾私案」には大きな憤りを感じている。全国町村会、全国町村議会議長会と共に、小規模自治体の自治権が認められるよう要請していきたいと考えている。 説明（町長） 協議会には積極的な情報公開を、委員には活発な議論をしていただくようお願いしたいと思う。 説明（町長） 交付税の将来予測は、その時々を経済情勢で大きく変わるのでなかなか正確なものを算出していくのは難しいところがあると思っている。 説明（事務局） 日当を協議会から支出している。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
阿寒町 参加者 24 名	2 回	平成 15 年 3 月 29 日 (土) 14:00 ~ 15:22 西部消防組合阿寒湖支 署	▼質疑等 シミュレーションの表の見方が良く分からない。12 ページの文中に 19 年度と表記されているがグラフでは表示されていない。 ▼質疑等 釧路市まで 70 km あるなど、距離的なハンディを背負っているが、端に住む者として合併した場合に病院や生活に不安を持っている。そのような不安に対してどのような議論がされているのか。 ▼質疑等 今日の集まりはかなりの協議が進んでいて、メリット・デメリットの具体的な協議が出来ると思ってきたのだが、ズレが大きい。9 月までに判断するということだが、住民は何を判断材料に行えばいいのか。	説明(事務局) グラフは全ての年度を表記しておらず、途中で 4 年 5 年刻みとなっている。文章では阿寒町のシミュレーションの結果、特徴的なことだけを表現させてもらっている。 説明(事務局) 6 ページの留意事項についての協議は 4 月以降になる。施設や病院の問題のうち自治体経営の分については、配置の問題などが検討されることになる。各市町村から参加されている委員を通して地域の皆さんの意見については協議会に届けてもらえると考えている。 説明(事務局) 本日の資料については、これまでの協議の途中経過として 14 年度中に協議してきた内容をお示している。今後、協議会だよりやホームページなどで随時協議内容をお知らせしていきたい。



(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 合併した場合、しなかった場合に、町として良いことがそれぞれあれば比べて判断できるが、合併しなかった場合、この先どうなるかが分からない。 ▼質疑等 ダイジェスト版は 6 市町村が全て合併した場合のものか。 ▼質疑等 釧路市と釧路町に吸収してもらうイメージが強い。ゾーン分けでもう少し工夫が出来ないか。教育はどこ、スポーツはどこが細かいゾーンに分けてもらいたい。阿寒湖は端にあるので一つもメリットがないような気がする。細かなゾーン分けをお願いする。新市の中央に都市を作る考えはないのか。新しい市役所の位置は現在の市役所の場所なのか。	説明（町長） 後日改めて町独自のシミュレーションの説明会を開催したいと考えている。 説明（事務局） 6 市町村が合併した場合を前提として検討している。 説明（事務局） は貴重なご意見として、今後の検討材料とさせていただきたい。 は今あるものを有効に活用させていただくことを視野に入れていきたいと思っている。新しい市役所の位置については、これから協議させていただくことになる。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
白糠町 参加者 60 名	1 回	平成 15 年 3 月 30 日 (土) 10:00 ~ 11:41 西庶路コミュニティセンター	▼質疑等 普通交付税が 10 年間保障されるといっているが、15 ページ下のグラフでは下がっている。説明と矛盾していないか。 ▼質疑等 P13 の白糠町の数字が前の町民説明会の数字と違うのではないか。 P14 の合併効果については類似団体と同水準と設定するというが、一番関心の深い特別職・議員・職員の報酬の中身は何か。また報酬額はどこに併せているか。 議員数が 108 名→38 名となっているが、合併した場合の議員特例（在任・在職）の違いが良く分からない。各市町村の合併の腹決めをしても良いのではないか。国で検討している行政区域についてはどのように考えているのか。 	説明（事務局） 実質には年度ごとに算定される係数が下がってくるものと予想したグラフとなっている。 説明（町） 町独自で推計しているものとの違いは、総合計画を全て実施した場合とそうでない場合の違いであり、前提条件が異なることによる。 説明（事務局） 議員報酬は釧路市に併せて推計しており、社会保険料などに相当する事業主負担を含んでいる。議員の在職・在任特例は合併の方式（吸収、対等）により異なり、どうするかは今後検討していくことになる。 説明（町長） 現段階では申し上げられない。町民と基本的な情報を共有しないと結論を誘導することになる。8 月頃にはハッキリとした姿勢を打ち出していきたい。国で検討している制度については、17 年 3 月以降に制度化されていくことになる。国は 17 年 3 月までに合併を決めた場合に優遇措置を行い、何らかの理由で合併できない場合には質問にあった事柄を含めて検討するという姿勢である。17 年 3 月以降の優遇措置はないものとして考えないといけないと思っている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 一般職の687名の減は類似団体との比較による試算だが、どのような内容のものか。 釧路市と釧路町の合併協議は終わったが、今後、広域で1市町村でも抜けるとどうなるのか。	説明（事務局） 管理部門などの重複する部門は減ることが予想されるが、積み上げて出した数字ではなく、類似団体を参考に推計した数字である。行政改革などでの職員減も考えられるもが、具体的な検討が行われているわけではない。 説明（町長） 各々の市町村で説明会が始まっているが、合併しない選択肢もあり、合併しなくてもやっていけるなら当然合併しないことになる。合併せざるを得ないという選択がされて初めて合併のエリアが出てくる。 合併しない市町村がある、ないに関わらず白糠町として合併する必要があるのか、ないのかの選択をすることが先ず重要である。どこかが抜けたから合併しないということではなく、今年の秋には残った団体でどうするかを決めることになる。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
白糠町 参加者 70 名	2 回	平成 15 年 3 月 30 日 (日) 14:00 ~ 16:00 白糠町社会福祉センター	▼質疑等 説明会にはどれくらい参加しているのか。合併することで税金や医療費などはどうなっていくのか、この資料では分からない。秋に資料が提示されて合併判断のタイムリミットなら、どう判断したらいいのか。合併判断はどの場で行うのか。全体から賛否を問うのか住民投票か説明会での判断なのか。 ▼質疑等 P13 の白糠のシミュレーションを見るとパンザイとなる。白糠独自のシミュレーションはないのか。2 / 25 に全国町村会などが全国決起集会を行い、要望を行ったが、広報誌にはこのような大事なことが載っていない。国の動向等も載せるべきでないか。	説明(事務局) 音別 2 回、釧路市、釧路町各 4 回、阿寒 2 回、白糠 2 回で開催したほか 4 月 4 日に鶴居で 2 回開催の予定である。それぞれ 50 ~ 100 名程度出席されている。 説明(町長) 地域懇談会、議会説明会、出前講座で 700 名余が参加している。それだけでは不足なので逐次広報で周知している。今後の判断については、抜けることが可能なことが前提である。スケジュール的には今秋に方向付けをしないと間に合わない。6 月には地域自治組織などについて国が方針を出すと言っている、その後により具体的なシミュレーションが出来るものと考えている。その後に情報提供しながら判断材料を出していくので時間が若干かかることになるが、判断の時期が若干延びたとしても、後の作業行程を詰めていくことができるものと個人的に考えている。合併判断は、重要な事柄なので時間をかけていく必要があるが、どこかで取りまとめの時期を設定しておかないと時間ばかりが経過してしまうので、現時点では秋までと考えている。最終的には議会の議決で決めることになるが、判断材料が出揃い説明会を開催した後で、住民の意見を吸い上げる方法を検討していきたいと思っている。方法としてはアンケートや住民投票を含めて検討していきたい。 説明(町) 概要版を 8 月までに作成し、住民説明会を 9 月に開催する予定であるので、サービスや負担を含め白糠が自立するための内容について 9 月の住民説明会の時にお示ししたい。 説明(町長) 全国町村会、町村議会議長会の要望内容は、合併に対する悩みを提案しているもの。国では 17 年 3 月までに新しい制度を取り入れる考えはない。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 合併しなかった場合に考えられるサービスの度合や職員数などを示してほしい。自助努力の考えを持つためにも白糠町独自のものでもいいから合併しなかった場合のシミュレーションを示してほしい。白糠町には図書館がない。文化芸術の施設もない。釧路市との距離を考えれば身近に施設がないと文化が置き去りになる心配がある。特例債が全部釧路市に使われてしまうのではないかと心配もある。委員の報酬と費用弁償は国から補助金が出ていると思うが、報酬の見直しの考えはあるのか。報酬を返上するような協議はされたのか。 ▼質疑等 補助金の使い方や報酬等を返上した場合、国に返金しないといけないのかといったことが分からなかった。報酬を減額して他に使えるのであればと思っている。	17 年 3 月までは今の制度でやっていき、合併出来ない自治体については、要望があがっている提案を検討しながら対応するというので、結論は出ていない。合併支援策の時限については 17 年 3 月で変わらないし、優遇制度も変わらない。ただし、合併の調印が済んだが最後の手続きが間に合わないといった場合に配慮するというのである。 説明（町長） この場は合併協議会の説明の場。説明をする場合も 6 市町村が 1 つになった場合を想定して説明している。白糠町が合併しないということを選択するにしてもデータがないと出来ないの、町で懇談会を行うときには、合併しなかった場合のデータを出していきたい。まちづくりの方法や限られた予算の使い方については今後の協議にゆだねたい。特例債を使ってどんどん事業をするという合併はすべきでないと考えている。6 市町村が一つになるとすれば、それぞれが厳選した事業を協議すべき。白糠町として何が必要かを十分に検討していかなければならない。今年度は国から支援をもらっているが、来年度も補助があるかどうかは分からない。報酬の取扱いについては、今後委員との協議の中で出てくるかもしれない。何らかの形で相談させていただきたいが、全てが無報酬となるかについては、事故が起きた場合の問題などもあり一概にこうだとは言えない。今は国からの補助金で費用を見ている。 説明（事務局） 14 年度は年間 3,500 万円の予算で作業を進めてきた。白糠町からは 500 万円ほどの負担金をいただき、それに見合う金額が国から補助金として白糠に交付されている。委員会の費用にいくら使えるという補助金の基準はないが、国と協議を行って補助金が交付されている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 協議会全体の予算の内容を示してほしい。 白糠町から 500 万円というが、協議会の資料では 915 万 9,000 円出すことになっているのではないか。 報酬、費用弁償はどの程度になっているか。日当が支払われるのは納得がいけない。 ▼質疑等 将来構想は「絵に描いた餅」。広さは大きい が本州と同じ考え方で合併をしようとしている。 北海道独自の特別な方法を考えているのか お聞きしたい。これだけ広い市となれば、均等 なサービスを受けられるものが理解に苦しむ。 IT 等の活用も一つの方法だが全員が使える訳 ではない。「使える」「使えない」でとんでもない 差が出てこないか。本当の意味での公平さが 確保できるものが作られるのかどうか、協議会 がどのような進め方で、どのような方向で決ま っていくのか、住民にどのような対応やアクシ ョンがあり、委員が我々に知らせていくのか、 我々が聞ける場があるのかないのか、間違いの ない方向を示唆してほしい。	説明（事務局） 協議会の予算は 14 年度が 3,500 万円、15 年度が 6,500 万円であり白糠町から 915 万円を負担していただくことになっている。14 年度は半年間であったが、15 年度は 1 年間の協議となるため、約 2 倍の運営経費をみている。 報酬で約 1,000 万円を見込んでいる。内訳は 108 人の委員が、協議会 8 回、小委員会延べ 64 回、その他住民説明会への出席などを想定しており、メンバーが多いことから総額としてこのような額になっている。また、日当というものではなく、役務を提供してもらうという意味合いで支払っているものである。 説明（事務局） 今の 6 市町村でも役場のある中心部とそれ以外の地区があり、その中でも不公平がないように市町村ごとに工夫が行われている。面積が広くても同じような工夫をなお続けて考えて行きたい。その方向については協議会の中で検討されることになる。 説明（町長） 「広いが故に住民にとってどうか」ということだと思うが、合併した場合に当然プラスもあるがマイナスも出てくる。基本的に協議会はこのマイナスの部分の如何に防いでいくかというのが役目。一般論として「広いが故に不利益が出てくるのでないか」という心配があり、私もそう思っている。一番大事なことは、人が住んでいる集落をどうするかである。住民にとっては集落に住んでいて今まで以上にサービスが低下しないということが大事。この部分について市町村が対策を持って協議会に臨むということが大事。各々の市町村が合併をするのかしないのか十分住民の皆さんと協議した上で判断して協議会に臨み、6 つが一つになるのかどうかという判断をすることになるので、そのことを原則論としてご理解いただきたい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			 ▼質疑等 合併をしないと宣言している町は、なぜ合併しないでいけるのか調べているのなら教えてほしい。役場にばかり求めるのではなく、住民全体が我が町を愛するようになるためには、委員を通して情報発信を行い、そうした意識を住民に植え付けなければいけないと思うがいかがか。みんなで英知を集めて合併問題を協議すべきではないか。	今考えなければいけないのは、「合併すると過疎になる」という議論があり、実際に合併しなくて良かったという話も聞くが、当時は絶対的な条件が一つあり、高度成長があったことから、合併しなくても国からの交付税があったために独自のまちづくりが出来たもの。しかし、根本的に今回違うのは、人口が減ってきている要素を念頭に置くかどうか。「合併したから寂れた」のか、「合併しなかったら寂れなかったか」という検証はない。ここの部分の見通しもキチンと当町ではお話しする必要があると思っている。 住民と役場との日常の関わりについては、例えば、西麻路では4,600人の町民に対して支所職員4名で、日々の業務はそこで対応することが可能。また、国では郵便局やコンビニでも住民票などの受け取りが出来るように法律改正をしており、今まで以上に便利になる方向付けをしている。合併したことで役場職員が全員新しい庁舎に移るわけではないし、地域住民を集団移住させるわけでもない。大事なことは生活ベースが成り立つように行政がきちんと行っていかなければいけない。このような議論を行い、町としての結論を持って協議会に臨み、合併するのかどうかの論議をしていきたいと考えている。 説明（町長） なぜ今の時点で合併しない宣言をしたのか理由が逆に分からない。合併をするかしないかは色々な検討をした後で行っても遅くないと思っている。今結論を出すには他に何か意味があるのではないかと考えてしまう。合併するしないに関わらず、今必要なのは意識改革。海や山や大地の恵みを利活用させてもらっていることを忘れていてはいないか。バブルが弾けて気づいたことは「地元の資源を活用しなければ企業は来ない」ということ。まだ遅くない。今、知恵を出し合えば子や孫に残していけるまちづくりをしていくことが出来る。合併するのなら尚のことそのことを色濃く出していかなければと思っている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時/場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 事務方で毎回大変な準備をして委員会を開催しているが、報告を見ると、時間とお金をかけて集まってもらったのに 1 時間弱で終わったりしておりもったいない使い方をしている。せっかく集まったのなら 1 時間で終わるのではなく、きちっと中身の濃い議論をしてもらえればもっと協議も進むのではないかと思う。時間とお金を使っているのだから有効に使ってほしい。	説明（委員） 今後の協議の中では、4 時間も 5 時間も時間をかけなければいけないことが起こってくるかもしれないが、今までは各市町村から具体的なデータが集まっていない段階だったことから、1 時間程度で終わっている。今後、段々協議が進んでいけば朝から晩まで協議しなければいけない内容のものも出てくるわけで、これまでの最初の 1 回、2 回の会議は、基本的な枠組みだけを決めなければいけない会議だったことから致し方ない部分もあった。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
鶴居村 参加者 23 名	1 回	平成 15 年 4 月 4 日 (金) 10:30 ~ 12:12 幌呂農村環境改善センター	▼質疑等 合併しない場合のシミュレーションには各市町村の努力が入っていないのではないか。市町村ごとの借金や財産はどうなるのか。 ▼質疑等 人件費を削減する方策は考えているか。 ▼質疑等 交付税は、今後どういう推移になると予想しているか。 ▼質疑等 「日本一広い市」となった場合、この中に鶴居が埋没してしまう気がする。	説明（事務局） 市町村の努力を前提として、シミュレーションに組み込むことはなかなか難しいことから、これまでの行革の努力は入れているが、これからの行革等の努力は織り込んではいない。一方、11P のグラフには物件費や人件費の削減は含んでいるが、合併により役所が一つになることで削減できる要素であることや、積み上げる手法ではなく類似団体の数字を使っているためである。このため片方では努力の跡が見え、片方には見えないようになっている。しかし何もしなければこのような厳しい数字になるものと思う。どうすれば健全な運営が出来るようになるのか村独自の説明等が行われるものと思っている。預金が借金より多い自治体はそう数多くはない。村民の皆さんがそれだけ努力してきたことが水泡に帰するのではないかという心配については、これからの議論になるが、現状のままとするか、あるいは財産区というようなものを考えるかといったようなことが考えられる。 説明（事務局） 退職者が出た場合に補充しないことなどが考えられるが、合併のための首切りについてはまったく想定していない。 説明（事務局） 18 年度までは一定程度減っていき、12 年度に比べて 70%程度の額と予想している。その後は、概ね 18 年度の額と同様に推移するだろうと考えている。 説明（事務局） 4 月以降の協議の中でそうした不安に対しては、委員の皆さんが村民の皆さんの意見を代弁されるものと考えている。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 シミュレーションの結果を見て嬉しかったので、村長さんはじめ行政に携わってきた方々に村民の 1 人としてお礼申し上げたい。シミュレーションは成績表のようなものであり、これだけ健全な行政、借金もなく高度なサービスを受けてきたことを嬉しく思っている。そういう中で住んできたので合併したくないというのが本音である。相反するが、仕方がないから合併をするのではなく、積極的に合併する姿勢でいきたい。引っかかるのは、このような良い状況の中で、どうして合併をしなければいけないのか。国が地方に対して合併を促す状況のようであるが、そこが良く分からない。道や国に働きかけて、合併しない場合の情報を与えてほしい。情報を見て、尚且つ納得した上で合併したい。	説明（村） 村独自の説明会を予定しており、自立する場合を想定した住民サービスや負担の資料を、判断材料の一つとして分かる範囲で情報提供していきたい。 

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
鶴居村 参加者 50 名	2 回	平成 15 年 4 月 4 日 (金) 13:30 ~ 14:50 鶴居村総合センター	▼質疑等 財政力の格差への配慮で、住民理解のもと合併を検討したいというが、どういう形で検討されるのか具体的に分からないか。 ▼質疑等 議員数の法定数は 38 人であるが、どういつ選出の方法になるか、方向性はどうなっているのか。 ▼質疑等 今秋もう一度説明会があると思うが、合併した場合のいいことしか書いていない。合併してもこういうことが悪くなるということもこれから具体的に出してほしい。 ▼質疑等 大きくなればいいという話を聞くが、選挙違反してまでも合併したいというのが分からない。鶴居村民はそこまで切羽詰った合併の考えはない。我慢すればまだまだやっていけると考える人が多い。職員も減らし人件費も削減するというが、職員にも子どもがあり家庭を持っている。大きくなればいいのか。急いでやる必要はないと思う。	説明(事務局) 特定目的基金を活用したり、特定地域に特定のサービスを提供することを検討したり、公共サービスについて特定の配慮をするような施設整備を重点的に行うなどの選択肢が出てくるのではないかと考えている。 説明(事務局) 合併してすぐは特例措置が使えるため、例えば 2 年間は、今の議員はそのまま新しい市の議員として活動することは可能である。恒常的にどうするかについては、国で検討している制度なども含め、民意反映の方法について情報を集め協議していきたい。 説明(事務局) 今後、資料を作成していく上で留意したい。 説明(事務局) 合併はまちづくりの選択肢の一つ。合併という選択をしたいと思うような見通しになるかどうかだと思う。今日は、合併協議会の立場で説明しているが、村として今後生き残りが出来る状況になるのかどうかの説明が別途村の方からあると思うので、それらを比較して考えていただきたい。

(注) 住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。

釧路地域 6 市町村合併協議会住民説明会

市町村名	回数	日時 / 場所	主な質問・意見	主な説明内容
			▼質疑等 6 ページの合併の効果は明確だが、留意事項についての記載は弱く、比較しづらい。住民サービスの調整はこれからというが、判断するのに間に合うのか。 	説明（事務局） 精力的に作業を進めて判断材料を示していきたい。それを見て住民の皆さんが判断するに当たってそれで良とされるのか、もう少し時間を掛けて情報をくれといわれるか、これからの協議会の協議、住民皆さんの要望等を見極めていきたい。 説明（村長） 合併は性急にしないでいいのではないかという発言・意見があったが、合併をなぜしなければいけなくなったということについては、17 年 3 月までに合併を行えば財政支援が手厚く行われるということがあり、先を急ぐようになっていることをご理解願いたい。村としては昨年一昨年と懇談会でも 10 ヶ年計画の財政シミュレーションを説明したが、これから 1,300 項目の調整項目を行政の中でどのように位置づけるかを協議会で精力的に詰めていただき、8 月までに概要版として提出される予定であるので、村としては遅くとも 10 月までに、財政支援を受けることを前提として、合併の是非を判断する機会を作りたい。 村としては中長期財政計画を細分化したものを提供して理解を求めている。サービスの面では辛抱をお願いしたり、使用料・手数料などをアップして財源の確保を図ったり、職員の抑制も考えていかなければいけない。物件費や補助金、助成金などを辛抱してもらうなど細かいものも詰めて、概要版の他に村独自の資料を示して客観的に判断してもらう考えている。言えることは、少子高齢化で、36 年には高齢化率も上がり、本当に対応し切れるのかという問題もある。将来方向に誤りのないように折につけ、家庭や地域の中で議論願いたい。村として可能な限り情報提供をしていく。歴史の転換期ともなりかねない時期なのでよろしく願いたい。

（注）住民説明会での主な質問や意見等を事務局で要約したものです。